

教育の最新事情（必修） 芦屋大学 平成21年度

講座名	担当	テーマ	内容	キーワード	メッセージ	職歴（略）
A 必修 8/18 (火)	津田徹	教員としての子ども観、教育観等についての省察	この講義では、以下の3つの細目について取り上げる予定です。 1) 子ども観と教育観 2) 教育的愛情や倫理観 3) 教員に対する社会的要請 限られた時間ですが、上記の細目についてこれまでの見解を概観し、新たな視点、違ったものの見方から考察できればと思います。	教育哲学	現代の教育について多くの問題提起を行い、教員としての資質向上につながればと考えています。	平成20年4月： 芦屋大学臨床教育学部 准教授 武庫川女子大学 非常勤講師
	新井野久男	学校現場の諸問題への対応を考える	学校現場には様々な問題が毎日のように発生し、先生方はその対応で厳しい毎日の連続だと思っています。 いじめ・不登校、事件事故に対する危機管理、マスコミ対応、苦情・クレームへの対応、学級崩壊、学校の荒れ、学力低下の問題、など、数えあげれば枚挙にいとまがありません。これらの諸課題について、誰もが客観的に判断したり、批判したりできる「事例」を通してお互いに意見交換し、問題点を発見し自分自身が具体的場面に遭遇した時にどのように対応できるか一緒に考えようではありませんか。	「短縮事例研究」 「気づき」 「こんなときどうする？」 「担任の危機管理」	神戸市の公立中学校と教育委員会で38年間にわたり、様々な問題に直面し、その都度、職場の同僚や、時には家庭や地域、関係機関の協力を得て対応をしてきました。これらの経験を、困難な課題が山積する教育現場で日夜奮闘されている先生方に対して伝えることで少しでも手助けができればと思って、テーマを設定しました。	神戸市教育委員会指導生徒指導係主席指導主事 神戸市教育委員会指導課指導課長 平成16年4月： 神戸市上野中学校校長 平成19年4月： 芦屋大学臨床教育学部 准教授
	三浦正樹	子どもの発達に関する課題	日々子どもたちと接する中で、今一度子どもたちの「育ち」や「学び」について整理してみる。具体的には以下の論点を中心に見ていく。 子どもたちの「発達」について、いくつかの発達理論をもとにまとめる。特にエリクソンの発達理論は有益であろう。 発達について、最新の脳科学の知見をもとにまとめる。 発達障害についても、認知・教育・神経心理学的側面からまとめる。	「発達理論」 「エリクソン」 「ピアジェ」 「脳科学」 「発達障害」 「神経心理学」 「発達と教育」	幼稚園、小学校、中学校、高校、どの年代であれその年代特有の発達上の課題があります。この講習では子どもたちの発達という側面から「発達と教育」の課題について考えてみたいと思います。	平成19年4月： 芦屋大学教育学部 教授 平成14年4月： 芦屋大学大学院教育学研究科 博士後期課程教授
講座名	担当	テーマ	内容	キーワード	メッセージ	職歴（略）
B 必修 8/19 (水)	吉田隆夫	子どもの変化を踏まえた適切な指導	青少年の職業行動が問題になっていることから、学校教育段階におけるキャリア教育が推進されています。以下のテーマについて講習を行います。 1 現代青少年の選職行動とキャリア教育 2 キャリア教育と人格形成 3 個性の発見と伸張 4 自己概念の形成 5 自己実現 6 その他	キャリア教育 進路指導 職業選択 人格形成 個性 自己概念	教育と心理の視点から学校教育におけるキャリア教育（進路指導）についてテキストに書かれていない内容を説明したいと考えています。	平成2年12月： 芦屋大学教育学部 教授 平成14年4月： 芦屋大学大学院教育学研究科 博士後期課程教授 平成17年4月： 文部科学省設置審議会教員組織審査
	谷口眞・吉村和彦	専門職たる教員の役割と安心・安全な学校づくり	(1) 専門職たる教員の役割 教育基本法にみる教員の役割と、UNESCO国際会議での「教師の役割と地位に関する勧告」における教員の役割をみながら、真の教員の役割について一緒に考えてみたいと思います (2) 安心・安全な学校づくり 学校内外での連携協力と学校における危機管理上の課題について、以下の4点から考えます。 ・ 最近の少年非行から、6つの特徴について ・ 児童・生徒を取り巻く危機的状況について ・ 保護者からの苦情の変質について ・ 学校に求められる今後の取り組みについて	「明るく元気な学校づくり」	学校の現状は、以前のような同僚性も希薄になり、超多忙な中、孤立・孤独に耐えながら、児童・生徒・保護者と向き合う日々ではないでしょうか？もう一度、先生方に元気になってほしい、との想いで企画しました。	谷口眞 平成20年8月： 芦屋大学臨床教育学部 非常勤講師 平成21年4月： 大阪府立枚岡樟風高等学校 校長 吉村和彦 平成17年4月： 大阪府立今宮高等学校校長 平成17年4月： 全国総合科高等学校長協会・副会長 平成19年4月： 芦屋大学臨床教育学部 教授
	三羽光彦	学校をめぐる近年の状況変化	最近の社会状況の変化、近年の教育政策の動向、それに基づく主要教育法規の改正、学習指導要領改訂などの趣旨・内容を理解した上で、現代社会の変化と学校教育の課題、公教育における教師の役割について検討し、あわせて地域社会・保護者と学校との連携・協力のあり方についても考察する。	教育基本法、 学校教育法、 学習指導要領、 少子高齢化、 経済不況、 学力問題、 家庭・地域との連携	最近の教育政策の動向や法規の改正内容を知るだけでなく、国際社会の大きな変化、社会経済的危機という大状況から現代公教育の課題を捉え、教師としてのあり方を省察していく手がかりを提供したい。	平成18年6月： 岐阜経済大学経済学部教員 養成課程 平成19年4月： 芦屋大学臨床教育学部教授 芦屋大学教育学研究科 博士後期課程教授

## 教科指導、生徒指導とその他教育内容の充実（選択） 芦屋大学 平成21年度

講座名	担当	テーマ	内容	キーワード	メッセージ	職歴（略）
C 選択 8/20 (木)	田村壽秀	これからの教育と「確かな学力」の育成を目指した授業のあり方	「教師は授業が命 授業で勝負する」をテーマに 学力低下 指導力低下 PISA型学力の育成 保護者・地域からの信頼回復等の新学力指導要領の目指す内容の課題解決に向けて実践事例を基に提言していきたい。また、新任教師の増加期を迎え教師力アップのための授業研究会の在り方について研究推進校の貴重な実践例も踏まえながら、研究組織の活性化等について討論し、教師力アップの方策を考えていきたい。	学力向上、 確かな学力、 新指導要領、 教育改革、 指導の発想の転換、 若い教師を育てる授業研究・研修会	教師の大量採用期を迎え、いかに若い教師を育てていくかは各学校の課題である。教育改革の基本的方向を踏まえ、指導力の転換、指導の発想の転換、授業力のアップ等に取り組む必要もある。信頼される学校教育の確立を目指して学校はどう取り組んだらよいか考えたい。	平成14年4月： 芦屋市朝日が丘小学校校長 平成17年4月： 芦屋大学臨床教育学部 准教授
	岸本久子	豊かな心をはぐくむ幼児教育	・幼児期は、幼稚園生活を通して培われる“しなやかな心・豊かな感性・旺盛な好奇心力等により、小学校以降の生活や、学習の芽生えをはぐくんでいく重要な時期である。 ・上記のことをふまえて、教師に求められる資質や専門性の向上について考察する。	「後(あと)伸び(のび)する力」 「育ての心」 「幼・小連携」	・幼稚園現場の様子を視聴覚教材を通して、グループで話し合い、楽しく理解を深めましょう。	平成7年4月： 神戸市立有野幼稚園園長 平成19年4月： 芦屋女子短期大学 教授
講座名	担当	テーマ	内容	キーワード	メッセージ	職歴（略）
D 選択 8/21 (金)	林伸一・吉村和彦（進行）	人権教育のあり方について映像と参加体験型学習等から考える	1950年代製作のアメリカ映画、及び、2007年製作の啓発映画の視聴、並びに、参加体験型学習等を通じて、ひとの認知の特徴、偏見や人権侵害が生起するプロセスを示す。それを踏まえ、受講者とともに、人権教育のあり方について考える。	「人と人を信頼で結ぶには？」	人権教育を子どもたちの心に響くものにするためには、人権の意義や人権侵害とは何か、とすることについてよく理解しておく必要があります。また、ひとの認知の特徴や発達段階を踏まえた教材・資料づくりと指導も不可欠です。講義では、映画視聴、参加体験型学習、出席者相互の討議を通じて、それらについての理解を深めるためのヒントや情報を提供します。さらに、人権教育の推進と学力向上との相関関係についても触れることにしています。	林伸一 平成17年4月： 大阪府教育委員会・指導主事 平成18年4月： 大阪府教育委員会・首席指導主事 平成20年8月： 芦屋大学臨床教育学部 非常勤講師  吉村和彦：大阪府立今宮高等学校校長 ：全国総合科高等学校長協会・副会長 ：芦屋大学臨床教育学部 教授
	松本静雄・吉村和彦（進行）	特色のある授業創りー理科（地学）教育ー	（1）自然科学を実験や観察から学ぶ 「手作り教材の魅力」 実験や観察を通して、自然現象等がなぜそのようなものになるのかを考えさせることが理科教育の基本であると考え、そのための教材作りを続けてきました。今回は、その中（地学教材）のいくつかを見ていただき、そして、受講生の先生方と一緒に作ってみましょう！ （2）日本列島の生き立ちと自然に学ぶ 日本列島はプレートの活動によって地震や火山の多いところに位置し、絶えず自然災害との戦いでした。兵庫県南部地震等は記憶に新しいところです。一方、地震や火山などの活動が多くの資源を生み出し、日本列島の風景美を作ったとも言えます。今回は、実験や観察をまじえて、日本列島の自然のすばらしさを感じ取っていただきたいと思えます。	（1）手作り教材の面白さと魅力 （2）赤道から生まれた日本列島の自然	理科の先生だけでなく、理科以外の小・中・高の先生方にも教材作りのヒントや面白さを実感していただき、そして、自然現象に興味と関心を持っていただけるように、教科・校種を越えて手作り授業の楽しさを味わってもらいます。	松本静雄 平成18年4月： 大阪府教育委員会・指導教諭 平成20年8月： 芦屋大学臨床教育学部 非常勤講師  吉村和彦：大阪府立今宮高等学校校長 ：全国総合科高等学校長協会・副会長 ：芦屋大学臨床教育学部 教授
講座名	担当	テーマ	内容	キーワード	メッセージ	職歴（略）
E 選択 8/22 (土)	佐谷力	学校現場で生かせるカウンセリング	「学校現場での生活指導と教育相談の連携のあり方」から、「子どもにエネルギーを与えるかかわり方と視点」について、整理・提案します。また、「親のかかわり方が子どもに与える影響」を分析するとともに、カウンセリングの考え方や技術を生かした「保護者とのかかわり」の基本について提案します。	共感性の育て方 信頼関係を生み出す コミュニケーション	具体的でわかりやすく「使える」と感じてもらえる提案を、実習や討議も入れながら「疲れず、楽しい」展開の中で行うつもりです。	平成18年4月： 大阪府教育委員会・首席指導主事・兼教育センター・教育相談室長 平成20年8月： 芦屋大学臨床教育学部 非常勤講師 平成21年4月： 常盤学園大学 准教授